Evolinguistics

新学術領域「共創言語進化」
第3回 領域全体会議
共催：沖縄科学技術大学院大学

Evolinguistics : Integrative Studies of Language Evolution for Co-creative Communication

2019年2月18日～19日

沖縄科学技術大学院大学・ホテルムーンビーチ

目　次

■ **アクセス・・・Page 3**

■ **日程・・・Page 4**

■ **タイムテーブル・プログラム**

- Day-1・・・Page 5
- Day-2・・・Page 6
- 個別研究成果発表・・・Page 7-8
- ポスター発表－1・・・Page 9-10

■ **参加者名簿・・・Page 11-12**

■ **OISTキャンパスマップ・B250へのアクセス・・・Page13**

■ **ホテル館内レイアウト・・・Page 14**

■ **ホテルムーンビーチ相部屋割表・・・Page 15**

アクセス

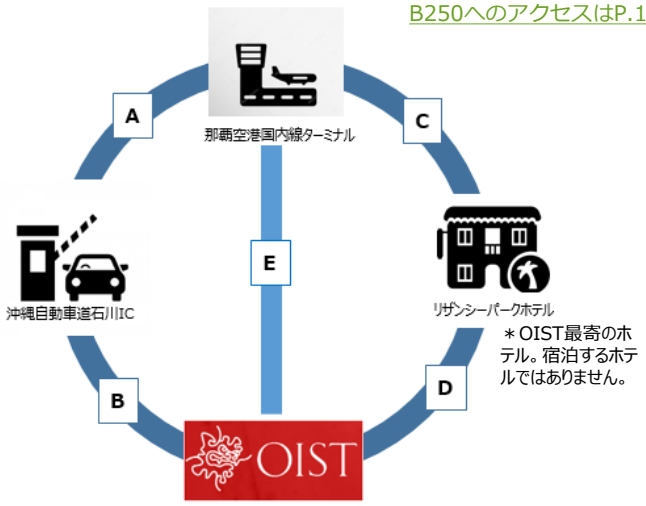
沖縄科学技術大学院大学（OIST） 会議会場

〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1

チャーターバス（下図E・予約制）
■2月18日　那覇空港バスターミナル
　第1便：11:30発 / 第2便：12:00発
※第2便にも乗車できなかった場合は、事務局にメールまたは携帯 090- 3097-8466にご連絡ください。
■2月19日　OIST 15:45頃発
　2台に分乗（1号車：A01,B01,B02 / 2号車：B03, C01,学術調査官）

※2月18日のフライトの運航状況に応じて、最大20分ほど出発時刻を遅らせる場合があります。

会議会場（セミナールームB250へのアクセスはP.13）



アクセス情報
https://www.oist.jp/ja/access-map

【那覇空港→OISTアクセス】
※前泊、後泊、遅参などの場合は、公共交通機関経路・時刻表をご確認ください。

A	高速バス（那覇空港国内線ターミナル⇔沖縄自動車道石川IC）	約60分	1,370円	時刻表
B	①　OISTシャトルバス 14名乗り（沖縄自動車道石川IC⇔OIST）	約15分	無料	時刻表
	②　タクシー（沖縄自動車道石川IC⇔OIST）	約15分	1,600円	タクシー情報
C	空港リムジンバス（那覇空港国内線ターミナル⇔リザンシーパークホテル）	約80分	1,600円	時刻表
D	タクシー（リザンシーパークホテル⇔OIST）	約10分	不明	タクシー情報
E	チャーターバス 50名乗り2台（那覇空港国内線ターミナル⇔OIST）	約80分	総括班支給	往路11:30/12:00発
※上記以外に路線バス　名護西空港線　那覇空港国内線ターミナル→大学院大学前→徒歩15分→OIST　約2時間10分）が利用できます。				

ホテルムーンビーチ 懇談会＋ポスターセッション会場・宿泊

〒904-0414 沖縄県国頭郡恩納村前兼久1203
TEL: 098-965-1020

アクセス情報
http://www.moonbeach.co.jp/about_hotel/access/

日程

■ 第1日目　2019年2月18日（月）

① 13:30～14:00　受付　（OIST メインキャンパス セミナールームB250 入口）

② 14:00～14:10　開会挨拶・領域概要

③ 14:10～15:00　OIST 講演 (1)

④ 15:10～16:50　共同研究発表　各10分X10

⑤ 17:00～18:00　個別研究成果発表　各3分X20（発表者リストNo.1～20）

⑥ 18:00～18:45　ホテルへ移動・フロントで鍵受取り

⑦ 18:45～20:45　懇談会＋ポスターセッション（ホテルムーンビーチ2Fティンガーラ）

※受付時にプログラム、名札をお渡しします。

※OIST会議室Wifi有り（パスワードはありません）

※相部屋鍵担当の方（参加名簿参照）、シングル利用の方はホテルフロントで鍵と朝食券をお受け取りください。

※ホテルチェックイン後、２Ｆティンガーラの各自の番号のパネルに貼付してください。

※チャーターバス2台は班で分乗（1号車：A01,B01, B02 / 2号車：B03, C01, 評価委員,学術調査官）

※懇談会飲料代金＜6000円＞を各自チェックアウト時にお支払いください。領収書は宿泊費とは別葉で発行されます。

■ 第2日目　2019年2月19日（火）

① 06:30～08:00　朝食（１Fコラーロ）

チェックアウト

② 08:00～08:30　OISTへチャーターバスで移動

③ 08:30～09:20　OIST講演 (2)

④ 09:20～12:00　個別研究成果発表　各3分X41（発表者リストNo.21～61）

＜この間休憩10分X2回＞

⑤ 12:10～13:00　OIST 講演 (3)

⑥ 13:00～14:00　昼食（メインキャンパス2F ”Grano” にてお弁当）

⑦ 14:00～14:10　ポスター賞表彰式

⑧ 14:10～14:30　講評（評価委員・学術調査官）

⑨ 14:30～15:30　中間報告のまとめ方

閉会挨拶

⑩ 15:30～17:00　那覇空港へ移動

※朝食券を提示ください。

※チェックアウト時に懇談会費もお支払いください。

※チャーターバス2台は班で分乗（1号車：A01,B01, B02 / 2号車：B03,C01, 評価委員,学術調査官）

※昼食は、参加者IDをレストラン入口で掲示してください。費用（1,000円）は総括班負担。B階。C階が利用できます。

※チャーターバス２台で那覇空港に向かいます。（1号車：A01,B01,B02 / 2号車：B03, C01, 学術調査官）

タイムテーブル

Day-1

2月18日（月）

時刻	（分）		発表題目	演　者	進行
11:30発 / 12:00発	90	那覇空港→OIST	チャーターバス2便		
13:30 - 14:00	30		受付　［OISTメインキャンパス　セミナールームB250　入口］		
14:00 - 14:10	10	開会挨拶	領域概要	領域代表　岡ノ谷　一夫	B03 馬塚
14:10 - 15:00	50	OIST講演（１）	コミュニケーションの強化学習と脳内シミュレーション	沖縄科学技術大学院大学・神経計算ユニット 銅谷　賢治	
15:00 - 15:10	10		◇ ◇ ◇ 休　憩 ◇ ◇ ◇　休　憩 ◇ ◇ ◇ 休　憩 ◇ ◇ ◇		
共同研究発表				**●発表者**	
15:10 - 15:20	10	A01計画班×A01計画班	生成文法と認知言語学の融合による階層性の起源・進化の理解	●A01 藤田耕司、●A01 谷口一美	B03 馬塚
15:20 - 15:30	10	A01公募班×B03公募班	自閉スペクトラム症幼児の順番交替：「ね」と相づちを通して	●A01 川原功司、B03 吉村優子	
15:30 - 15:40	10	B01計画班xA01公募班	多モダリティに共通する階層構造処理の脳内機構解明に向けて	B01 岡ノ谷一夫、●A01中井智也	
15:40 - 15:50	10	B01計画xA01計画、B02計画、外部	言語・音楽・描画の階層性	●B01 幕内充、A01藤田、浅野、 B02林、外部Friederici, Zaccarella	A01 保坂
15:50 - 16:00	10	B02計画班xB01計画班	現代人の脳形態と脳機能の関係性	●B02 近藤修、B01中谷裕教	
16:00 - 16:10	10	B02計画班XB01計画班	霊長類の協力行動の進化モデル（仮）	●B02 井原泰雄、●B01豊田有、香田啓貴	
16:10 - 16:20	10	B03計画班xA01計画班	初期の語の特徴を産出データから再考する	●B03小林春美、●A01谷口一美	
16:20 - 16:30	10	B03計画班xB01計画班	言語表現と描画の階層性の記述および両者の関係についての検討	●B03広瀬友紀、B01幕内充	
16:30 - 16:40	10	C01計画班×B01計画班	マイクアレイを用いた生物の音声インタラクション観測と理解の試み	●C01鈴木麗璽・有田隆也、B01和多和宏・香田啓貴	
16:40 - 16:50	10	C01公募班ｘB03公募班	共創言語に基づく発達支援ロボティクス	●C01久保田直行、B03山本淳一	
16:50 - 17:00	10		◇ ◇ ◇ 休　憩 ◇ ◇ ◇　休　憩 ◇ ◇ ◇ 休　憩 ◇ ◇ ◇		
個別研究成果発表					
17:00 - 18:00	60	個別発表-20名 X 3分	（個別研究成果発表者リスト参照）	個別研究成果発表者No.1～20	C01 有田
18:15 - 18:30	15	OIST→ホテル	チャーターバス2台	1号車：A01, B01, B02, 評価委員, 学術調査官 2号車：B03, C01	
18:30 - 18:45	15		荷物を客室へ→ポスター貼付（2F ティンガーラ）	シングル利用・相部屋鍵担当の方はフロントに立ち寄ってください。	
18:45 - 20:45	120	懇談会＋ポスターセッション	ホテルムーンビーチ　2F ティンガーラ	※ポスター賞投票は計画班代表・分担によりオンラインで行います。オンラインフォームのURLは20時頃に該当者に配信します。	代表 岡ノ谷

Day-2 プログラム

タイムテーブル

Day-2

2月19日（火）

時刻	（分）		発表題目	演 者	進行
06:30 - 07:45	75		朝食［ホテルムーンビーチ１Fコラーロ］・ 各自チェックアウト		
08:00 - 08:30	30	ホテル→OIST	チャーターバス2台	1号車：A01, B01, B02, 評価委員, 学術調査官 2号車：B03, C01	
08:30 - 09:20	50	OIST講演（２）	社会的コミュニケーションに依存した音声学習	沖縄科学技術大学院大学・臨界期の神経メカニズム研究ユニット 矢崎 陽子	A01 太田
個別研究成果発表					
09:20 - 09:50	30	個別発表-10名 X 3分	（個別研究成果発表者リスト参照）	個別研究成果発表者 No.21～31	
09:50 - 10:00	10		◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇		
10:00 - 11:30	90	個別発表-25名 X 3分	（個別研究成果発表者リスト参照）	個別研究成果発表者 No.32～56	B01 香田
11:30 - 11:40	10		◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇		
11:40 - 12:10	30	個別発表-5名 X３分	（個別研究成果発表者リスト参照）	個別研究成果発表者 No.57～61	B02 近藤
12:10 - 13:00	50	OIST講演（３）	社会認知理解に向けての構成論的ロボット研究	沖縄科学技術大学院大学・認知脳ロボティクス研究ユニット 谷 淳	
13:00 - 14:00	60		昼食 ［OIST Grano B階・C階］＜スケジュールが押した場合はこの時間枠で調整＞		
14:00 - 14:10	10	領域代表	ポスター賞表彰式	東京大学大学院総合文化研究科 岡ノ谷 一夫	C01 金野
14:10 - 14:30	20	講評	講評（評価委員・学術調査官）	学術調査官：田谷 修一郎、岡崎 直観 評価委員 ：浅田 稔、大津 由紀雄	
14:30 - 15:30	60	領域代表	中間報告のまとめ方 閉会挨拶	東京大学大学院総合文化研究科 岡ノ谷 一夫	
15:30 - 17:00	90	OIST→那覇空港	チャーターバス	1号車：A01, B01, B02 2号車：B03, C01, 学術調査官	

個別研究成果発表-1（No.1～38）

変更・修正箇所

No.	班	役割	発表者（　）内は代理発表者	所属	職名	発表タイトル
1	A01	代表	藤田　耕司	京都大学大学院人間・環境学研究科	教授	階層構造構築能力の起源・進化
2	A01	分担	太田　真理	九州大学・人文科学研究院	講師	併合および非併合演算についての実験的検討
3	A01	分担	田中　伸一（堀川　遼太）	東京大学・大学院総合文化研究科	教授	ミニマリスト音韻論の概要 進化言語学における音韻論の性質と役割
4	A01	分担	谷口　一美	京都大学大学院人間・環境学研究科	教授	認知言語学から見た言語進化
5	A01	分担	福井　直樹（松本　大貴）	上智大学・言語科学研究科	教授	併合および非併合演算についての理論的検討
6	A01	分担	保坂　道雄	日本大学・文理学部	教授	言語進化と歴史言語学
7	A01	分担	本多　啓	神戸市外国語大学・外国語学部	教授	TBA
8	A01	協力	池内　正幸（藤田　遥）	名古屋外国語大学・外国語学部	教授	言語の起源の“How?”と“When?”
9	A01	公募班代表	宇野　良子	東京農工大学・大学院　言語文化科学部門	准教授	実験室の言語進化と理論言語学をつなぐ新造語の研
10	A01	公募班代表	尾島　司郎	横浜国立大学・教育学部	准教授	多言語能力の進化
11	A01	公募班代表	那須川　訓也	東北学院大学・文学部	教授	併合による音韻階層構造の構築
12	A01	公募班代表	川原　功司	名古屋外国語大学・外国語学部	准教授	間投詞と自閉症スペクトラム
13	B03	公募班代表	今井　むつみ（日高　昇平）	慶應義塾大学・環境情報学部	教授	語彙システムにおける恣意性と有縁性
14	B03	公募班代表	開　一夫（山本　絵里子）	東京大学・大学院総合文化研究科	教授	ジェスチャーの分節化：発達認知脳科学的研究
15	B01	代表（領域・B01）	岡ノ谷　一夫	東京大学・大学院総合文化研究科	教授	階層的な行動と認知の生成機構
16	B01	分担	香田　啓貴	京都大学・霊長類研究所	助教	霊長類進化における発話や歌，動作創発原理
17	B01	分担	関　義正	愛知大学・文学部	准教授	比較接近法により同調・協調能力の由来を探る
18	B01	分担	幕内　充	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	室長	描画における階層性の検証
19	B01	分担	和多　和宏	北海道大学・大学院理学研究院	准教授	階層性の基本構造となる構文規則学習の発声神経分子メカニズムの解明
20	B01	公募班代表	狩野　文浩	京都大学・高等研究院・熊本サンクチュアリ	特定准教授	類人猿のコミュニケーション意図共有
21	B01	公募班代表	上川内　あづさ	名古屋大学・大学院理学研究科	教授	ショウジョウバエをモデルとした歌学習機構の解明
22	B01	公募班代表	川合　伸幸（中村　月香）	名古屋大学・情報学研究科	准教授	霊長類の警戒音声は生得的な脅威対象と連合するか？
23	B01	公募班代表	小林　耕太	同志社大学・生命医科学部	准教授	音声可塑性の神経機構：モデル動物・実験系の開発
24	B01	公募班代表	櫻井　芳雄	同志社大学・大学院脳科学研究科	教授	齧歯類の同異概念形成・メタ認知・意図共有の脳内メカニズム
25	B01	公募班代表	新村　毅	東京農工大学・農学部	准教授	発声の制御遺伝子の同定と分子進化の解明
-	B01	公募班代表	鈴木　俊貴（代理指名無し）	東京大学　・教養学部・学際科学科	助教	鳥類をモデルに探る統語の進化の制約要因
26	B01	公募班代表	野村　洋	北海道大学・薬学研究院	講師	他個体から得た情報と実体験を統合する神経回路の解明
27	B01	公募班代表	正水　芳人	東京大学・大学院医学系研究科	講師	音声コミュニケーションをともなう向社会行動の神経基盤の解明
-	B01	公募班代表	森阪　匡通（代理指名無し）	三重大学・大学院生物資源学研究科	准教授	イルカのコンタクトコールの進化から探るヒトの名前の起源
28	B01	公募班代表	横山　ちひろ	理化学研究所・ 脳コネクトミクスイメージング研究チーム	上級研究員	マーモセット脳画像解析による下位言語能力を支える神経基盤の探索
29	B02	代表	井原　泰雄	東京大学・大学院理学系研究科	講師	言語能力の出現を促した進化機構に関する研究
30	B02	分担	近藤　修	東京大学・大学院理学系研究科	准教授	化石人類の脳機能の理解に向けて
31	B02	分担	佐野　勝宏	早稲田大学・高等研究所	准教授	複合的連鎖構造の出現
32	B02	分担	中村　美知夫	京都大学・大学院理学研究科	准教授	大型類人猿の社会から言語進化に迫る
33	B02	協力	森田　理仁	東京大学・大学院理学系研究科	特任研究員	言語進化の人類学・生態学的基盤：歌・(非)言語行動・子ども
34	B02	公募班代表	鈴木　匡子	東北大学・大学院医学系研究科	教授	損傷脳から見た言語の階層性
35	B02	公募班代表	中橋　渉	早稲田大学・社会科学部	講師	文化技術の構造から言語進化を探る
36	B02	公募班代表	野崎　一徳	大阪大学・歯学部附属病院	助教	摩擦子音構音に必要な形態・物理的条件からみた言語進化のメカニズ
37	B02	公募班代表	松前　ひろみ	東海大学・医学部基礎医学系	特任助教	「ヒトらしさの進化:民族集団史と言語・音楽の共進化関係の解明」
38	B02	公募班代表	和田　幹彦	法政大学・法学部	教授・学部長	「法の進化」の研究方法論：「言語進化」との連動研究の第1段階
-	B02	計画班分担	林　美里（代理指名無し）	京都大学・霊長類研究所	助教	TBA

個別研究成果発表-2（No.39～61）

No.	班	役割	発表者（　）内は代理発表者	所属	職名	発表タイトル
39	B03	代表	小林　春美	東京電機大学・理工学部	教授	直示コミュニケーションにおける情報の非曖昧化
40	B03	分担	広瀬　友紀	東京大学・大学院総合文化研究科	教授	韻律情報は二度解釈される
41	B03	分担	松井　智子（内田　真理子）	東京学芸大学・国際教育センター	教授	多言語環境で育つ子どもの言語と意図理解の発達
42	B03	分担	馬塚　れい子	理化学研究所・脳神経科学研究センター	チームリーダー	言語リズム起源が神経振動引き込み現象で説明できるか
43	B03	協力	橋彌　和秀	九州大学・人間環境学研究院	准教授	TBA
44	B03	協力	安田　哲也	東京電機大学・理工学部	プロジェクト研究助教	意図共有における暗黙的意味の理解
45	B03	公募班代表	明地　洋典	東京大学・こころの多様性と適応の統合的研究機構	助教	発話意図の推論とその非定型性の定量的検討
46	B03	公募班代表	皆川　泰代（蔡　林、白野　陽子）	慶應義塾大学・文学部	教授	言語獲得初期における階層性学習と意図共有の脳内機構
47	B03	公募班代表	山本　淳一（石塚　祐香）	慶應義塾大学・文学部	教授	自閉スペクトラム症児への包括的言語発達支援プログラムの開発と評価
48	B03	公募班代表	吉村　優子	金沢大学・人間社会研究域学校教育系	准教授	意図共有の神経基盤における縦断的変化
49	C01	代表	橋本　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	教授	再帰的結合の進化に対する創発構成論的アプローチと融合研究
50	C01	分担	有田　隆也	名古屋大学・大学院情報学研究科	教授	言語と言語能力の共進化に対する構成論的アプローチ
51	C01	分担	金野　武司	金沢工業大学・工学部電気電子工学科	講師	構造依存性の実現を支える解釈学的循環メカニズムの解明
52	C01	分担	笹原　和俊	名古屋大学・大学院情報学研究科	講師	共有過多と社会的分断を促す言語
53	C01	分担	鈴木　麗璽	名古屋大学・大学院情報学研究科	准教授	音による個体間相互作用の進化・創発に対する構成論的アプローチ
54	C01	分担	竹澤　正哲	北海道大学・文学研究科	准教授	階層構造の発生において文化伝達が果たす役割
55	C01	分担	萩原　良信	立命館大学・情報理工学部	講師	マルチエージェントにおける概念形成と 語彙創発ダイナミクスのモデル化
56	C01	分担	我妻　広明（藤原　正幸）	九州工業大学・生命体工学研究科	准教授	TBA
-	C01	協力	谷口　忠大（萩原　良信）	立命館大学・情報理工学部	教授	TBA
57	C01	公募班代表	飯塚　博幸	北海道大学・大学院情報科学研究科	准教授	深層学習を用いた模倣学習による文法創発モデル
58	C01	公募班代表	岡　夏樹	京都工芸繊維大学・情報工学・人間科学系	教授	意図を表す機能語の獲得と進化の構成的理解
59	C01	公募班代表	奥田　次郎	京都産業大学・情報理工学部	教授	記号と意味の対応付けに関わる脳活動の検討
60	C01	公募班代表	久保田　直行	首都大学東京・システムデザイン学部	教授	教示学習を通した記号化から言語化への経時的認知発達に基づく構成論的研究
61	C01	公募班代表	森田　純哉	静岡大学・情報学部	准教授	認知アーキテクチャを用いた自閉的傾向のコミュニケーションモデルの構築

ポスター発表-1

No.	班	役割（関係）	氏名	所属　職名	ポスタータイトル	ポスター賞エントリー
1	A01	代表	藤田　耕司	京都大学大学院人間・環境学研究科・教授	階層構造構築能力と起源・進化	
2	A01	分担	池内　正幸	名古屋外国語大学・外国語学部・教授	言語“超”早期発現仮説へ―― 言語の起源の“When?”をめぐって	
3	A01	分担	太田　真理 福井　直樹	九州大学・人文科学研究院・講師 上智大学・言語科学研究科・教授	併合と非併合演算についての理論的·実験的検討	
4	A01	分担	田中　伸一	東京大学大学院・総合文化研究科・教授	ミニマリスト音韻論の概要：進化言語学における音韻論の性質と役割	
5	A01	分担	谷口　一美	京都大学大学院人間・環境学研究科・教授	認知言語学からみた言語進化：言語獲得と「階層性」を中心に	
6	A01	分担	保坂　道雄	日本大学・文理学部・教授	言語進化の三次元モデル	
7	A01	分担	本多　啓	神戸市外国語大学・外国語学部・教授	TBA	
8	A01	公募班代表	宇野　良子	東京農工大学・大学院　言語文化科学部門・准教授	自然言語と人工言語における新造語の意味共有度	
9	A01	公募班代表	尾島　司郎	横浜国立大学・教育学部・准教授	多言語能力のモデル、基盤、進化	
10	A01	公募班代表	川原　功司	名古屋外国語大学・外国語学部・准教授	間投詞と言語使用	
11	A01	公募班代表	中井　智也	情報通信研究機構・脳情報融合研究センター・研究員	多モダリティに共通する階層構造処理の脳内機構解明に向けて	☆
12	A01	公募班代表	那須川　訓也	東北学院大学・文学部・教授	併合により構築される音韻階層構造と弱化過程	
~~13~~	~~A01~~	~~関係者~~	~~中条　太聖~~	~~京都大学・総合人間学部・学部生~~	~~TBA~~	
14	A01	代理出席	藤田　遥	京都大学大学院人間・環境学研究科・院生・新学術OA	語彙的原型言語から機能範疇を備えた人間言語へ	☆
15	A01	代理出席	堀川　遼太	東京大学・大学院総合文化研究科・研究員/博士後期課程4年	音韻理論の枠組みと応用可能性	☆
16	A01	代理出席 関係者	松本　大貴 中条　太聖	京都大学大学院人間・環境学研究科・院生 京都大学・総合人間学部・学部生	Explorations of Hierarchy: Turning over Merge	☆
17	B01	代表（領域・B01）	岡ノ谷　一夫	東京大学・大学院総合文化研究科・教授	Domestication syndrome in Bengalese finches: predictions and measurements	
18	B01	分担	香田　啓貴	京都大学・霊長類研究所・助教	サルの発声運動の運動開始と準備の困難:手運動との比較を通じた研究	
19	B01	分担	関　義正	愛知大学・文学部・准教授	比較接近法により同調·協調能力の由来を探る	
20	B01	分担	幕内　充	国立障害者リハビリテーションセンター研究所・室長	TBA	
21	B01	分担	和多　和宏	北海道大学・大学院理学研究院・准教授	階層性の基本構造となる構文規則学習の発声神経分子メカニズムの解明	
22	B01	公募班代表	狩野　文浩	京都大学・高等研究院・熊本サンクチュアリ・特定准教授	類人猿は誤信念を持つ他者の行動を予測するのに自己経験を用いる Great apes use self-experiences to anticipate an agent's behavior who has a false belief	
23	B01	公募班代表	上川内　あづさ	名古屋大学・大学院理学研究科・教授	ショウジョウバエにおける音識別能の維持を担う神経機構	
24	B01	公募班代表	小林　耕太	同志社大学・生命医科学部・准教授	TBA	
25	B01	公募班代表	櫻井　芳雄	同志社大学・大学院脳科学研究科・教授	ラットのメタ認知と意図共有の行動神経科学的研究	
26	B01	公募班代表	新村　毅	東京農工大学・農学部・准教授	発声の制御遺伝子の同定と分子進化の解明	
27	B01	公募班代表	野村　洋	北海道大学・薬学研究院　・講師	他個体から得た情報を処理する神経回路	
28	B01	公募班代表	正水　芳人	東京大学・大学院医学系研究科・講師	音声コミュニケーションをともなう向社会行動の神経基盤の解明	
29	B01	公募班代表	横山　ちひろ	理化学研究所・脳コネクトミクスイメージング研究チーム・上級研究員	マーモセット脳画像解析による下位言語能力を支える神経基盤の探索	
30	B01	関係者	豊田　有	中部大学・創発学術院・研究員	ベニガオザルにみられるメス資源をめぐる協力行動 - 協力と連合の生物進化を促進する社会の諸条件の 考察 -	☆
31	B01	関係者	村井　翔太	同志社大学・生命医科学研究科・博士後期課程学生	音韻が喚起する意味処理：乳幼児の発達段階による注視反応の変化と成人fMRI実験による音象徴の検討	☆
32	B01	関係者	石川　由希	名古屋大学・大学院理学研究科・講師	ショウジョウバエにおけるフェロモンを用いたコミュニケーションの進化	
33	B01	関係者	上條　槙子	東京大学・大学院総合文化研究科・特任研究員	ラットの階層的認知	☆
34	B01	関係者	橘　亮輔	東京大学・大学院総合文化研究科・岡ノ谷研PD	さえずりの運動指令系列	☆
35	B01	関係者	田中　良弥	名古屋大学・大学院理学研究科・助教	Neural basis underlying species-specific courtship ritual in Drosophila	☆
36	B01	関係者	玉井　湧太	同志社大学・生命医科学研究科・博士後期課程１年	新奇物体探索課題によるスナネズミの内発的な聴覚知覚メカニズムの解明	☆
37	B01	関係者	森田　尭	京都大学・霊長類研究所・特定研究員	Hierarchical grammars do not provide additional explanatory power but allow for a compact analysis of animal song	☆
38	B01	代理出席	中村　月香	名古屋大学・大学院情報学研究科/ 国立精神・神経医療研究センター・研究員	霊長類の警戒音声は生得的な脅威対象と連合するか？	
39	B01	関係者	大関　洋平	早稲田大学・理工学術院／理化学研究所・革新知能統合研究センター 講師／客員研究員	自然言語処理と神経生理計測を融合した視覚性単語形状領域における言語の「階層的」分節解析モデル の構築と検証	☆
40	B02	代表	井原　泰雄	東京大学・大学院理学系研究科・講師	Stag-huntゲームの進化的解析	
41	B02	分担	近藤　修	東京大学・大学院理学系研究科・准教授	化石人類の脳機能の理解に向けて	
42	B02	分担	佐野　勝宏	早稲田大学・高等研究所・准教授	ヨーロッパ最古のホモ·サピエンスの狩猟具	
43	B02	分担	中村　美知夫	京都大学・大学院理学研究科・准教授	野生チンパンジーの屍肉食―対峙的屍肉食は「言語の起源」に繋がるか―	
44	B02	協力	森田　理仁	東京大学・大学院理学系研究科・特任研究員	思春期の社会性と言語進化：日英比較の試み	☆
45	B02	公募班代表	鈴木　匡子	東北大学・大学院医学系研究科・教授	＜No.57 柿沼一雄（代理発表）＞	
46	B02	公募班代表	中橋　渉	早稲田大学・社会科学部・講師	どのような文化技術が言語の存在を示唆するか？	
47	B02	公募班代表	野崎　一徳	大阪大学・歯学部附属病院・助教	摩擦子音を含む音節の構音に必要な解剖学的·物理的条件	☆
48	B02	公募班代表	松前　ひろみ	東海大学・医学部基礎医学系・特任助教	「ヒトらしさの進化:民族集団史と言語·音楽の共進化関係の解明」～人類集団のゲノム解析との比較から、言語の多様性や進化様式について何が分かりそうか～	☆
49	B02	公募班代表	和田　幹彦	法政大学・法学部・教授・学部長	「法の進化」研究の理論的枠組·方法論の構築	
50	B02	関係者	織原　健人	東京大学・大学院理学系研究科・修士2年	ヒト求愛アプローチの数理モデル	☆
51	B02	関係者	高橋　拓也	東京大学・大学院理学系研究科・博士課程1年	文化伝達の数理モデルによる日本語の周圏分布の解析	☆
52	B02	関係者	土田　まどか	東京大学・大学院総合文化研究科・超域文化科学専攻文化人類学分野・博士後期課程1年	「聴者も手話を話す村」における聴者·ろう者間コミュニケーション ーー身振りと言語の中間形態に関する現地調査中間報告	☆
53	B02	関係者	徳増　雄大	東京大学・大学院理学系研究科・博士課程3年	TBA	
54	B02	関係者	西川　有理	東京大学・大学院理学系研究科・博士課程1年	琉球列島における民謡の文化進化と方言および遺伝子との比較	☆

ポスター発表-2

No.	班	役割（関係）	氏名	所属　職名	ポスタータイトル	ポスター賞エントリー
55	B02	関係者	長谷　武志	東京医科歯科大学・医療データ科学推進室・特任准教授	TBA	
56	B02	関係者	田島　知之	京都大学・大学院理学研究科・研究員	オランウータンの食物分配インタラクションからオスの行動傾向は予測できるか	
57	B02	関係者	柿沼　一雄	東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学・医員	Wada testの発展手法が明らかにした言語の神経基盤の多様性と可塑性	☆
58	B03	代表	小林　春美	東京電機大学・理工学部・教授	幼児による直示コミュニケーションの非曖昧化	
59	B03	分担	広瀬　友紀	東京大学・大学院総合文化研究科・教授	韻律情報は二度解釈される	
60	B03	分担	馬塚　れい子	理化学研究所・脳神経科学研究センター・チームリーダー	乳児は語彙の頻度分布から統語の階層性を学習できるか	
61	B03	協力	橋彌　和秀	九州大学・人間環境学研究院・准教授	Speaker Identification Based on Epistemic Reasoning in Children with/without ASD: A Test with the “Knowledge-Based Ventriloquism Effect” Task	
62	B03	協力	安田　哲也	東京電機大学・理工学部・プロジェクト研究助教	意図共有における暗黙的意味の理解	☆
63	B03	公募班代表	明地　洋典	東京大学・こころの多様性と適応の統合的研究機構・助教	自閉症者における発話意図の推論の定量的検討	
64	B03	公募班代表	吉村　優子	金沢大学・人間社会研究域学校教育系・准教授	意図共有の声処理における神経基盤の縦断的変化	☆
65	B03	関係者	石塚　祐香	筑波大学・人間系・特任助教	自閉スペクトラム症児への包括的言語発達支援プログラム	☆
66	B03	関係者	笠原　臣	東京電機大学・理工学部・学部4年	TBA	
67	B03	関係者	柏舘　敬	東京電機大学・大学院理工学研究科・修士課程1年	句構造の曖昧性を解消するためにジェスチャーは使用されるか？	☆
68	B03	代理出席	日高　昇平	北陸先端科学技術大学院・大学知識科学系・准教授	TBA	
69	B03	関係者	森山　信也	東京電機大学・大学院・修士課程2年	道具使用と情報共有が指示詞使用に与える影響	☆
70	B03	関係者	渡邉　和樹	東京電機大学・理工学部・学部4年	TBA	
71	B03	代理出席	内田　真理子	東京学芸大学・国際教育センター・研究員	多言語環境で育つ子どもの言語と意図理解の発達	
72	B03	代理出席	蔡　林	慶應義塾大学・大学院理工学系研究科・博士課程1年	Infants’ neural responses to nonadjacent dependency learning	☆
73	B03	代理出席	白野　陽子	自治医科大学・先端医療技術開発センター・脳機能研究部門・ 特別研究員PD	乳児の社会的相互作用における随伴性への脳反応ー自閉症スペクトラム障害ハイリスク児とローリスク児の比較ー	☆
74	B03	代理出席	山本　絵里子	東京大学・大学院総合文化研究科・特任研究員	TBA	
75	C01	代表	橋本　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系・教授	構造と意味が繋がったシステム，あるいは繋ぐシステムとしての，言語	
76	C01	分担	有田　隆也	名古屋大学・大学院情報学研究科・教授	音による相互作用の進化に対する仮想生物進化アプローチ	
77	C01	分担	金野　武司	金沢工業大学・工学部電気電子工学科・講師	構造依存性を支える解釈学的循環メカニズムの解明	
78	C01	分担	笹原　和俊	名古屋大学・大学院情報学研究科・講師	言語の文化進化に関する計算社会科学のアプローチ	
79	C01	分担	鈴木　麗璽	名古屋大学・大学院情報学研究科・准教授	マイクアレイを用いた生物の音声インタラクション観測と理解の試み	
80	C01	分担	竹澤　正哲	北海道大学・文学研究科・准教授	長期的な教育は技術の累積的進化に寄与するのか？：教育の計算論モデルによる検討	
81	C01	分担	萩原　良信	立命館大学・情報理工学部・講師	エージェント間における概念形成と語彙創発ダイナミクスのモデル化	
82	C01	公募班代表	飯塚　博幸	北海道大学・大学院情報科学研究科・准教授	敵対的模倣学習による時系列の複雑化	
83	C01	公募班代表	岡　夏樹	京都工芸繊維大学・情報工学・人間科学系・教授	TBA	
84	C01	公募班代表	奥田　次郎	京都産業大学・情報理工学部　・教授	言語共創過程の脳モデルの構成的検証の研究	
85	C01	公募班代表	久保田　直行	首都大学東京・システムデザイン学部　・教授	教示学習を通した記号化から言語化へ経時的認知発達に基づく構成論的研究	
86	C01	公募班代表	森田　純哉	静岡大学・情報学部・准教授	認知アーキテクチャを用いた意図共有と階層性のコミュニケーションモデルの構築	
87	C01	関係者	赤池　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系・博士前期課程２年	再帰の概念分析	☆
88	C01	関係者	井上　直紀	静岡大学・情報学部・学部4年	メッセージ付きジレンマゲームにおける言語的コミュニケーションプロトコルの成立と変化	☆
89	C01	関係者	入江　諒	金沢工業大学・工学研究科 電気電子工学専攻　・修士1年	円図形を介した視覚的インタラクション実験における主従関係の時系列分析	☆
90	C01	関係者	甲斐　靖章	北陸先端科学技術大学院大学・修士１年	ほのめかしの進化について	☆
91	C01	関係者	片岡　大貴	京都産業大学・先端情報学研究科・博士前期課程1年	記号の変化に伴う意味の変化に関わる脳過程の実験的検討	☆
92	C01	関係者	河上　章太郎	金沢工業大学 工学研究科 電気電子工学専攻・修士1年	記号コミュニケーションにおける循環構造の再現に向けた言外の意味の調整メカニズムの導入とその効 果	☆
93	C01	関係者	齊藤　優弥	金沢工業大学・工学部電子情報通信工学科　・学部4年	構造依存性を持つ記号表現の発生過程を解明するための陣取りゲーム課題の開発	
94	C01	関係者	田口　慶志郎	立命館大学・情報理工学部・学部4年	場所概念転移学習モデルの名前･位置予測における大規模性能評価実験	☆
95	C01	関係者	田中　亮佑	首都大学東京・システムデザイン研究科・博士前期課程1年	TBA	
96	C01	関係者	谷口　彰	立命館大学・総合科学技術研究機構・日本学術振興会特別研究員（PD）	環境地図・場所概念･言語モデルの教師なし同時学習モデル	☆
97	C01	関係者	外谷　弦太	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系・博士後期課程3年	表象操作における再帰的結合能力の進化シミュレーション	☆
98	C01	関係者	中田　星矢	北海道大学・大学院文学研究科・修士1年	繰り返し学習を通した階層構造の創発：非言語課題による実験的検討	☆
99	C01	関係者	本間　祥吾	北海道大学・大学院文学研究科・修士1年	リスク回避と向社会行動：不確実な環境における適応メカニズム	
100	C01	関係者	中谷　瞭	静岡大学情報学部・学部3年	TBA	
101	C01	関係者	西川　純平	静岡大学情報学部・学部3年	しりとり課題を通した音韻意識の発達を促すインタラクションの	☆
102	C01	関係者	藤原　正幸	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系・博士2年	階層性･意図共有と身体的/記号的コミュニケーションについての	☆
103	C01	関係者	松島　茜	京都工芸繊維大学・学部4年	ベイジアンネットワークを用いた終助詞からの対話行為の推定	☆
104	C01	関係者	宮尾　愛平	京都工芸繊維大学・学部4年	教示付きゲーム環境における言葉の意味と行動の獲得	
105	C01	関係者	大和　祐介	名古屋大学・大学院情報学研究科・修士2年	神経修飾を用いたニューラルネットワークによるメタ記憶への構	☆
106	C01	関係者	山本　航平	首都大学東京・システムデザイン学部知能機械システムコース・学部4年	TBA	
107	C01	関係者	米納　弘渡	名古屋大学・大学院情報学研究科・研究員	共創的適応度地形での進化に個体学習と社会学習が与える影響	☆
108	B02	計画班分担	林　美里	京都大学・霊長類研究所・助教	入れ子のカップ課題における行為の文法から見たチンパンジーとヒトの子どもの比較認知発達	

参加者名簿（A01・B01・B02）

No.	班	役割（関係）	氏名	所属	職名
1	A01	代表	藤田　耕司	京都大学大学院人間・環境学研究科	教授
2	A01	分担	太田　真理	九州大学・人文科学研究院	講師
3	A01	分担	谷口　一美	京都大学大学院人間・環境学研究科	教授
4	A01	分担	保坂　道雄	日本大学・文理学部	教授
5	A01	分担	本多　啓	神戸市外国語大学・外国語学部	教授
6	A01	公募班代表	宇野　良子	東京農工大学・大学院　言語文化科学部門	准教授
7	A01	公募班代表	尾島　司郎	横浜国立大学・教育学部	准教授
8	A01	公募班代表	川原　功司	名古屋外国語大学・外国語学部	准教授
9	A01	公募班代表	中井　智也	情報通信研究機構・脳情報融合研究センター	研究員
10	A01	公募班代表	那須川　訓也	東北学院大学・文学部	教授
11	A01	関係者	中条　太聖	京都大学・総合人間学部	学部生
12	A01	代理出席	藤田　遥	京都大学大学院人間・環境学研究科	院生・新学術OA
13	A01	代理出席	堀川　遼太	東京大学・大学院総合文化研究科	研究員/博士後期課程4年
14	A01	代理出席	松本　大貴	京都大学大学院人間・環境学研究科	院生
15	B01	代表（領域・B01）	岡ノ谷　一夫	東京大学・大学院総合文化研究科	教授
16	B01	分担	香田　啓貴	京都大学・霊長類研究所	助教
17	B01	分担	関　義正	愛知大学・文学部	准教授
18	B01	分担	幕内　充	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	室長
19	B01	分担	和多　和宏	北海道大学・大学院理学研究院	准教授
20	B01	公募班代表	狩野　文浩	京都大学・高等研究院・熊本サンクチュアリ	特定准教授
21	B01	公募班代表	上川内　あづさ	名古屋大学・大学院理学研究科	教授
22	B01	公募班代表	小林　耕太	同志社大学・生命医科学部	准教授
23	B01	公募班代表	櫻井　芳雄	同志社大学・大学院脳科学研究科	教授
24	B01	公募班代表	新村　毅	東京農工大学・農学部	准教授
25	B01	公募班代表	野村　洋	北海道大学・薬学研究院	講師
26	B01	公募班代表	正水　芳人	東京大学・大学院医学系研究科	講師
27	B01	公募班代表	横山　ちひろ	理化学研究所・脳コネクトミクスイメージング研究チーム	上級研究員
28	B01	関係者	豊田　有	中部大学・創発学術院	研究員
29	B01	関係者	村井　翔太	同志社大学・生命医科学研究科	博士後期課程学生
30	B01	関係者	石川　由希	名古屋大学・大学院理学研究科	講師
31	B01	関係者	上條　槙子	東京大学・大学院総合文化研究科	特任研究員
32	B01	関係者	橘　亮輔	東京大学・大学院総合文化研究科	岡ノ谷研PD
33	B01	関係者	田中　良弥	名古屋大学・大学院理学研究科	助教
34	B01	関係者	玉井　湧太	同志社大学・生命医科学研究科	博士後期課程１年
35	B01	関係者	森田　尭	京都大学・霊長類研究所	特定研究員
36	B01	代理出席	中村　月香	名古屋大学・大学院情報学研究科/国立精神・神経医療研究センター	研究員
37	B01	関係者	大関　洋平	早稲田大学・理工学術院理化学研究所革新知能統合研究センター	講師客員研究員
38	B02	代表	井原　泰雄	東京大学・大学院理学系研究科	講師
39	B02	分担	近藤　修	東京大学・大学院理学系研究科	准教授
40	B02	分担	佐野　勝宏	早稲田大学・高等研究所	准教授
41	B02	分担	中村　美知夫	京都大学・大学院理学研究科	准教授
42	B02	協力	森田　理仁	東京大学・大学院理学系研究科	特任研究員
43	B02	公募班代表	鈴木　匡子	東北大学・大学院医学系研究科	教授
44	B02	公募班代表	中橋　渉	早稲田大学・社会科学部	講師
45	B02	公募班代表	野崎　一徳	大阪大学・歯学部附属病院	助教
46	B02	公募班代表	松前　ひろみ	東海大学・医学部基礎医学系	特任助教
47	B02	公募班代表	和田　幹彦	法政大学・法学部	教授・学部長
48	B02	関係者	飯島　和樹	玉川大学・脳科学研究所	嘱託研究員
49	B02	関係者	織原　健人	東京大学・大学院理学系研究科	修士2年
50	B02	関係者	高橋　拓也	東京大学・大学院理学系研究科	博士課程1年
51	B02	関係者	土田　まどか	東京大学・大学院総合文化研究科・超域文化科学専攻文化人類学分野	博士後期課程1年
52	B02	関係者	徳増　雄大	東京大学・大学院理学系研究科	博士課程3年
53	B02	関係者	西川　有理	東京大学・大学院理学系研究科	博士課程1年
54	B02	関係者	長谷　武志	東京医科歯科大学・医療データ科学推進室	特任准教授
55	B02	関係者	田島　知之	京都大学・大学院理学研究科	研究員
56	B02	関係者	柿沼　一雄	東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学	医員

参加者名簿（B03・C01・評価委員・学術調査官)

No.	班	役割（関係）	氏名	所属	職名
57	B03	代表	小林　春美	東京電機大学・理工学部	教授
58	B03	分担	広瀬　友紀	東京大学・大学院総合文化研究科	教授
59	B03	分担	馬塚　れい子	理化学研究所・脳神経科学研究センター	チームリーダー
60	B03	協力	橋彌　和秀	九州大学・人間環境学研究院	准教授
61	B03	協力	安田　哲也	東京電機大学・理工学部	プロジェクト研究助教
62	B03	公募班代表	明地　洋典	東京大学・こころの多様性と適応の統合的研究機構	助教
63	B03	公募班代表	吉村　優子	金沢大学・人間社会研究域学校教育系	准教授
64	B03	関係者	石塚　祐香	筑波大学・人間系	特任助教
65	B03	関係者	笠原　臣	東京電機大学・理工学部	学部4年
66	B03	関係者	柏舘　敬	東京電機大学・大学院理工学研究科	修士課程1年
67	B03	代理出席	日高　昇平	北陸先端科学技術大学院・大学知識科学系	准教授
68	B03	関係者	森山　信也	東京電機大学・大学院	修士課程2年
69	B03	関係者	渡邉　和樹	東京電機大学・理工学部	学部4年
70	B03	代理出席	内田　真理子	東京学芸大学・国際教育センター	研究員
71	B03	代理出席	蔡　林	慶應義塾大学・大学院理工学系研究科	博士課程1年
72	B03	代理出席	白野　陽子	自治医科大学・先端医療技術開発センター・脳機能研究部門	特別研究員PD
73	B03	代理出席	山本　絵里子	東京大学・大学院総合文化研究科	特任研究員
74	C01	代表	橋本　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	教授
75	C01	分担	有田　隆也	名古屋大学・大学院情報学研究科	教授
76	C01	分担	金野　武司	金沢工業大学・工学部電気電子工学科	講師
77	C01	分担	笹原　和俊	名古屋大学・大学院情報学研究科	講師
78	C01	分担	鈴木　麗璽	名古屋大学・大学院情報学研究科	准教授
79	C01	分担	竹澤　正哲	北海道大学・文学研究科	准教授
80	C01	分担	萩原　良信	立命館大学・情報理工学部	講師
81	C01	公募班代表	飯塚　博幸	北海道大学・大学院情報科学研究科	准教授
82	C01	公募班代表	岡　夏樹	京都工芸繊維大学・情報工学・人間科学系	教授
83	C01	公募班代表	奥田　次郎	京都産業大学・情報理工学部	教授
84	C01	公募班代表	久保田　直行	首都大学東京・システムデザイン学部	教授
85	C01	公募班代表	森田　純哉	静岡大学・情報学部	准教授
86	C01	関係者	赤池　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士前期課程２年
87	C01	関係者	井上　直紀	静岡大学・情報学部	学部4年
88	C01	関係者	入江　諒	金沢工業大学・工学研究科 電気電子工学専攻	修士1年
89	C01	関係者	田口　慶志郎	立命館大学・情報理工学部	学部4年
90	C01	関係者	松島　茜	京都工芸繊維大学	学部4年
91	C01	関係者	宮尾　愛平	京都工芸繊維大学	学部4年
92	C01	関係者	片岡　大貴	京都産業大学・先端情報学研究科	博士前期課程1年
93	C01	関係者	河上　章太郎	金沢工業大学 工学研究科 電気電子工学専攻	修士1年
94	C01	関係者	齊藤　優弥	金沢工業大学・工学部電子情報通信工学科	学部4年
95	C01	関係者	山本　航平	首都大学東京・システムデザイン学部知能機械システムコース	学部4年
96	C01	関係者	田中　亮佑	首都大学東京・システムデザイン研究科	博士前期課程1年
97	C01	関係者	中谷　瞭	静岡大学情報学部	学部3年
98	C01	関係者	西川　純平	静岡大学情報学部	学部3年
99	C01	関係者	中田　星矢	北海道大学・大学院文学研究科	修士1年
100	C01	関係者	本間　祥吾	北海道大学・大学院文学研究科	修士1年
101	C01	関係者	甲斐　靖章	北陸先端科学技術大学院大学	修士１年
102	C01	関係者	外谷　弦太	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士後期課程3年
103	C01	関係者	藤原　正幸	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士2年
104	C01	関係者	大和　祐介	名古屋大学・大学院情報学研究科	修士2年
105	C01	関係者	米納　弘渡	名古屋大学・大学院情報学研究科	研究員
106	C01	関係者	谷口　彰	立命館大学・総合科学技術研究機構	日本学術振興会特別研究員（PD）
107	学術調査官	学術調査官	岡崎　直観	東京工業大学・情報理工学院	教授
108	学術調査官	学術調査官	田谷　修一郎	慶應義塾大学・法学部	専任講師
109	内部評価委員	内部評価委員	浅田　稔	大阪大学・大学院工学研究科	教授
110	内部評価委員	内部評価委員	大津　由紀雄	明海大学・大学院応用言語学研究科	教授
111	事務局		七里　美和	京都大学大学院人間・環境学研究科	京大藤田研究室秘書
112	事務局		中村　綾子	東京大学・大学院総合文化研究科	学術支援専門職員

OISTメインキャンパス・センター棟

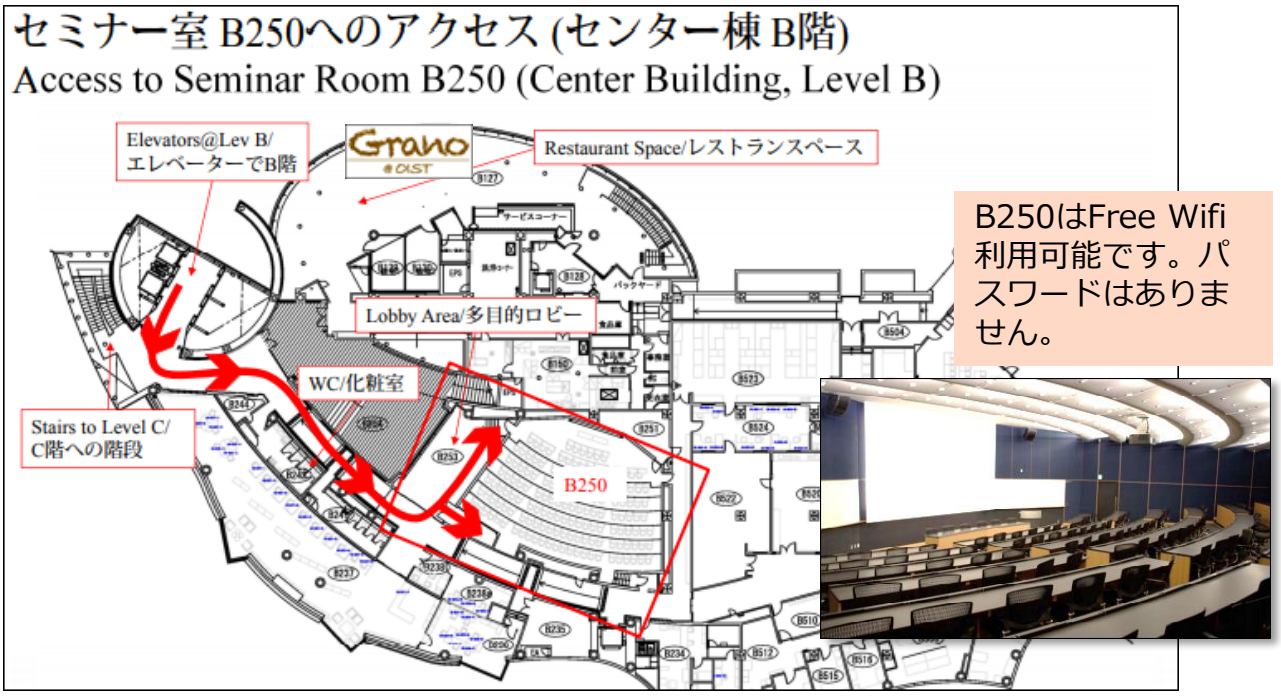
セミナールームB250

正面玄関に向かって屋外廊下を真直ぐにお進みください。
Down the roofed walkway towards OIST main campus

正面玄関からお入りください。
Enter through the Main Entrance

正面受付にて入館手続きを行ったトンネルギャラリーを真直ぐにお進みください。
Register at the Main Reception Desk and continue down the Tunnel Gallery

エレベーターでG階よりB階、C階の会場までお上がりください。
Access Level B and Level C via elevator from Level G

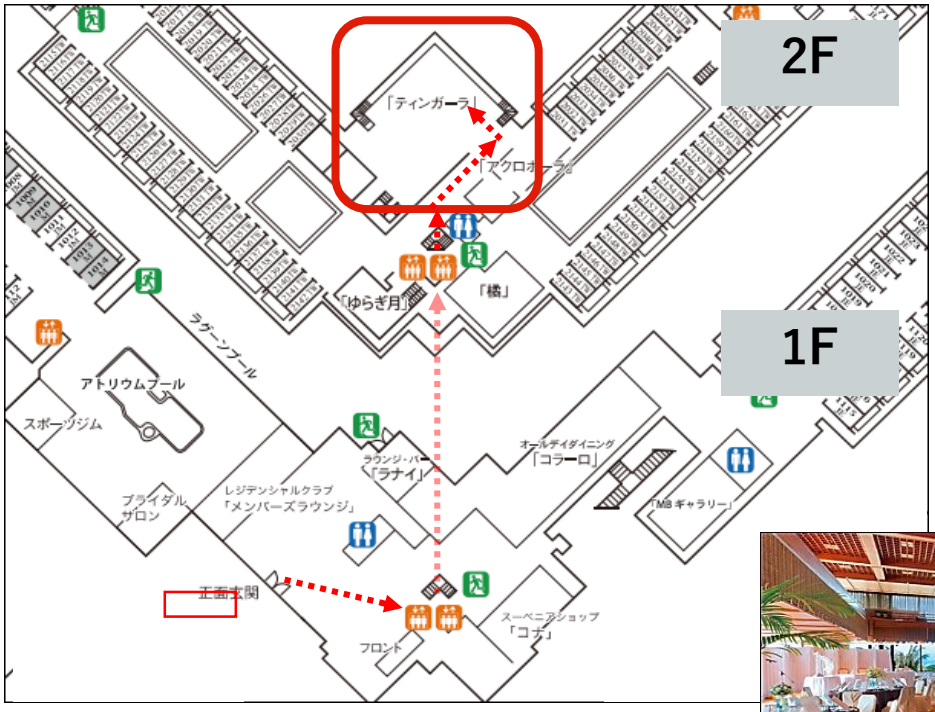


B250はFree Wifi利用可能です。パスワードはありません。

ご利用注意点 飲食禁止（*ペットボトル、キャップ付きの飲み物のみ許可）

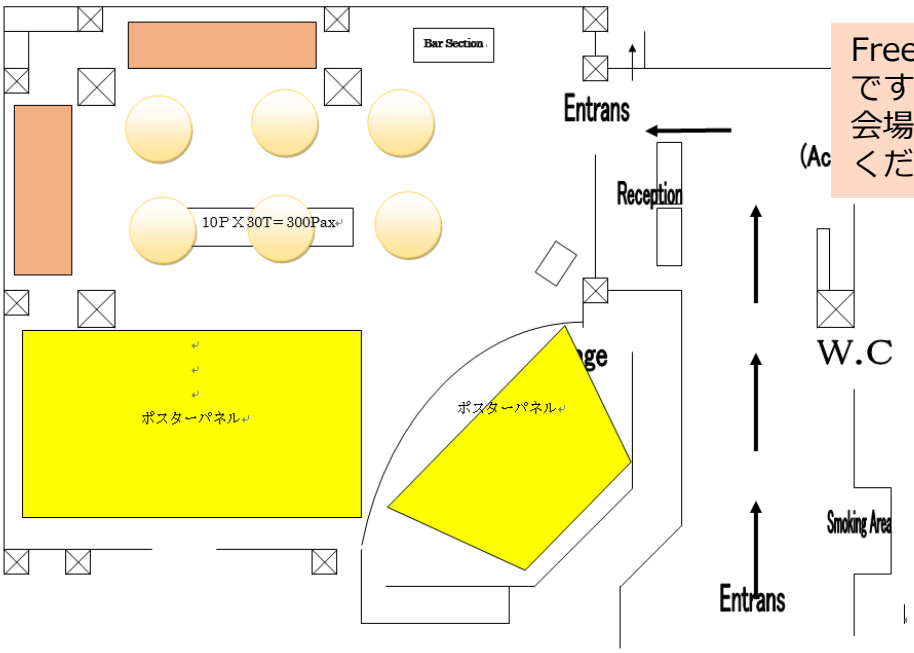
ホテルムーンビーチ

ポスターセッション・懇談会　2F ティンガーラ Tingala



ポスターセッション　レイアウト

18日セッション開始前に各自の番号のパネルに貼付ください。



Free Wifi 利用可能です。SSIDは当日会場表示版をご覧ください。

ホテルムーンビーチ　相部屋割表

第3回領域全体会議　ホテルムーンビーチ　相部屋　部屋割り表

※鍵担当の方は、18日ポスターセッション前にフロントにて鍵と人数分の朝食券をお受け取りください。

相部屋番号	班	役割（関係）	氏名	所属	職名	鍵担当
R1001	B03	公募班代表	吉村　優子	金沢大学・人間社会研究域学校教育系	准教授	◎
R1002	B02	関係者	飯島　和樹	玉川大学・脳科学研究所	嘱託研究員	
	C01	関係者	山本　航平	首都大学東京・システムデザイン学部知能機械システムコース	学部4年	◎
	C01	関係者	田中　亮佑	首都大学東京・システムデザイン研究科	博士前期課程1年	
	C01	関係者	大和　祐介	名古屋大学・大学院情報学研究科	修士2年	
R1003（後泊あり）	B01	分担	香田　啓貴	京都大学・霊長類研究所	助教	
	B03	協力	安田　哲也	東京電機大学・理工学部	プロジェクト研究助教	◎
	C01	代表	橋本　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	教授	
R1101（前後泊あり）	C01	分担	金野　武司	金沢工業大学・工学部電気電子工学科	講師	
	C01	関係者	入江　諒	金沢工業大学・工学研究科 電気電子工学専攻	修士1年	
	C01	関係者	河上　章太郎	金沢工業大学 工学研究科 電気電子工学専攻	修士1年	
	C01	関係者	齊藤　優弥	金沢工業大学・工学部電子情報通信工学科	学部4年	◎
R1102	B02	協力	森田　理仁	東京大学・大学院理学系研究科	特任研究員	◎
	B02	公募班代表	中橋　渉	早稲田大学・社会科学部	講師	
	B02	関係者	田島　知之	京都大学・大学院理学研究科	研究員	
	B03	公募班代表	明地　洋典	東京大学・こころの多様性と適応の統合的研究機構	助教	
	B03	代理出席	日高　昇平	北陸先端科学技術大学院・大学知識科学系	准教授	
R1103	B01	関係者	玉井　湧太	同志社大学・生命医科学研究科	博士後期課程１年	
	B02	関係者	徳増　雄大	東京大学・大学院理学系研究科	博士課程3年	
	C01	関係者	宮尾　愛平	京都工芸繊維大学	学部4年	
	C01	関係者	西川　純平	静岡大学情報学部	学部3年	◎
	C01	関係者	本間　祥吾	北海道大学・大学院文学研究科	修士1年	
R1104	A01	代理出席	松本　大貴	京都大学大学院人間・環境学研究科	院生	
	B02	関係者	高橋　拓也	東京大学・大学院理学系研究科	博士課程1年	
	C01	関係者	中谷　瞭	静岡大学情報学部	学部3年	◎
	C01	関係者	中田　星矢	北海道大学・大学院文学研究科	修士1年	
	C01	関係者	外谷　弦太	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士後期課程3年	
R1105	A01	代理出席	堀川　遼太	東京大学・大学院総合文化研究科	研究員/博士後期課程4年	
	B02	関係者	織原　健人	東京大学・大学院理学系研究科	修士2年	◎
	B03	代理出席	蔡　林	慶應義塾大学・大学院理工学系研究科	博士課程1年	
	C01	関係者	藤原　正幸	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士2年	
	C01	関係者	谷口　彰	立命館大学・総合科学技術研究機構	日本学術振興会特別研究員（PD）	
R1106	B02	公募班代表	野崎　一徳	大阪大学・歯学部附属病院	助教	
	B03	関係者	渡邉　和樹	東京電機大学・理工学部	学部4年	
	C01	関係者	井上　直紀	静岡大学・情報学部	学部4年	◎
	C01	関係者	片岡　大貴	京都産業大学・先端情報学研究科	博士前期課程1年	
	C01	関係者	甲斐　靖章	北陸先端科学技術大学院大学	修士１年	
R1107	A01	関係者	中条　太聖	京都大学・総合人間学部	学部生	◎
	B01	関係者	田中　良弥	名古屋大学・大学院理学研究科	助教	
	B01	関係者	大関　洋平	早稲田大学・理工学術院／理化学研究所・革新知能統合研究センター	講師／客員研究員	
	B03	関係者	柏舘　敬	東京電機大学・大学院理工学研究科	修士課程1年	
	C01	公募班代表	森田　純哉	静岡大学・情報学部	准教授	
R1108	A01	公募班代表	中井　智也	情報通信研究機構・脳情報融合研究センター	研究員	
	B01	関係者	村井　翔太	同志社大学・生命医科学研究科	博士後期課程学生	
	B03	関係者	笠原　臣	東京電機大学・理工学部	学部4年	◎
	B03	関係者	森山　信也	東京電機大学・大学院	修士課程2年	
	C01	関係者	赤池　敬	北陸先端科学技術大学院大学・知識科学系	博士前期課程２年	
R1109	A01	公募班代表	川原　功司	名古屋外国語大学・外国語学部	准教授	
	B01	公募班代表	野村　洋	北海道大学・薬学研究院	講師	◎
	B02	分担	近藤　修	東京大学・大学院理学系研究科	准教授	
	C01	公募班代表	奥田　次郎	京都産業大学・情報理工学部	教授	
R1110	A01	分担	太田　真理	九州大学・人文科学研究院	講師	◎
	B01	分担	幕内　充	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	室長	
	B02	分担	佐野　勝宏	早稲田大学・高等研究所	准教授	
	C01	公募班代表	岡　夏樹	京都工芸繊維大学・情報工学・人間科学系	教授	
R1111	B01	公募班代表	上川内　あづさ	名古屋大学・大学院理学研究科	教授	
	B01	公募班代表	横山　ちひろ	理化学研究所・脳コネクトミクスイメージング研究チーム	上級研究員	
	B01	関係者	上條　槙子	東京大学・大学院総合文化研究科	特任研究員	
	B02	関係者	土田　まどか	東京大学・大学院総合文化研究科・超域文化科学専攻文化人類学分野	博士後期課程1年	◎
R1112	A01	代理出席	藤田　遥	京都大学大学院人間・環境学研究科	院生・新学術OA	
	B01	関係者	石川　由希	名古屋大学・大学院理学研究科	講師	
	B03	代理出席	白野　陽子	自治医科大学・先端医療技術開発センター・脳機能研究部門	特別研究員PD	

Evolinguistics

「共創言語進化」事務局連絡先：

c-ayako_nakamura@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
緊急連絡：090-3097-8466＜開催日のみ＞